



東北文化学園 季報

本法人の広報誌を
国見の自然あふれる四季とともに
お届けします

東北文化学園大学総合発達研究センター附属 国見の杜クリニックを開設

平成 29 年 9 月 11 日、東北文化学園大学総合発達研究センター附属 国見の杜クリニックを開設しました。クリニックの開設は、平成 31 年に迎える本学 20 周年に向けた事業のひとつです。

「国見の杜クリニック」は、発達障害を含む言語・コミュニケーション障害に特化した内容とし、診療・訓練・支援のほか、総合発達研究センターとして臨床教育や研究にも取り組みます。

運営にあたっては地域の医療・教育施設などと緊密な連携のもと質の高い医療サービスと支援が提供できるよう努めてまいります。



診察室



待合室



プレイルーム

5月28日、東北文化学園大学「輝くみちのくフォーラム」を江陽グランドホテルで開催しました。

まず、特別講演として、東北で起業し、地域に根ざした活動をする3人の女性経営者が、起業にいたった経緯や地域への思いを語りました。

パネルディスカッションでは、本学特任教授であり、自身も東北で事業を行う浦沢みよこさんがコーディネー

ターを担当し、3人の経営者と熱く議論を展開しました。

当日の参加者のうち8割が女性とい

うこともあり、女性ならではの視点が共感を呼び、会場は盛り上がりを見せました。



講演「地域の文化を活かす・文化を創る」
株式会社せん 代表取締役 水野 千夏



講演「地域の人を活かす・人を創る」
株式会社クリフ 代表取締役 石山 純恵



講演「地域の縁を活かす・縁を創る」
NPO 法人ポラリス 代表理事 田口ひろみ

秋田県は無形重要文化財の登録数が全国一です。その伝統資源が、どのように受け継がれてきたかというストーリーを聞いて深く感動し、先代が築いてきた文化を今の時代に合わせたサービスに変え、より輝く事業ができないかと考えました。

そこで、舞妓文化を再生し「いま会える秋田美人」を生み出せば大きな観光資源になると考え、会社を立ち上げ「あきた舞妓」をデビューさせました。人口減少が進む地域では、新しいものを作っても発信力は弱いと思います。「地域に眠っているものをいかに活用するか」ということに視点をあて、秋田の魅力発信につなげています。

福島で翻訳や語学研修、社員研修を手掛ける会社を一人で立ち上げました。営業のため講演会や勉強会に次々参加し名刺交換をし、交換したかたすべてに24時間以内にメールを送りました。100通送って1通くらいしか返事は来ませんでした。徐々に仕事をいただけるようになりました。大事にしているのは、精一杯一生懸命やること。その繰り返しの中で少しずつ仕事が増え、現在は23人のスタッフがいます。

どんなに素晴らしい話でも実践が伴わなければ役に立ちません。自分の直観を信じる勇気を持ち、100の議論よりも、何かひとつやり遂げることを大事にしています。

山元町は宮城と福島の県境にあり、東日本大震災で町の3分の1が壊滅状態となりました。

障害者が働く場所は町に一カ所しかありません。限界を感じた私は、震災後の障害者の仕事の確保と心のケア、そして地域コミュニティ再生のため、市民参加型の活動としてNPO法人ポラリスを立ち上げました。施設の枠を超え、地域全体をフィールドと捉えて活動しています。

障害のある人たちの可能性や多様性は地域づくりの参考になります。さまざまな人たちが連携することで、山元町がしなやかで魅力的な町になると信じています。



パネルディスカッション「地域を活かす・地域を創る」
株式会社インターサポート 代表取締役 浦沢みよこ

■ Q.女性の働き方とは？…【水野】女性ならではの感性を重視しています。【石山】女性社長だから覚えてもらえる強みはあります。邪推する人もいるので、周囲への気遣いが必要です。■ Q. 設立時の思いについて…【田口】地域の人にも応援され一緒にできることを考えました。よそ者は実績が認められると応援してくれる方がどんどん増えていきます。■ Q. 地域をつくるのは女性だけではないのでは？…【水野】女性が町おこしをする姿は次世代の人に活力をあたえられると信じます。【石山】女性の社会参画はGDP（国内総生産）が伸びると言われています。地域でも女性が笑顔で活気ある町は男性の活気もあるはず。社会でも家庭でも「女性」がキーポイントになると思います。【浦沢】私たち一人一人がそれぞれの役割を探し、地域に積極的に飛び出していただきたい。

[大学] 七夕かざり

本学では地域交流の一環として、「仙台七夕まつり」に出展する七夕飾りの制作を近隣小学校の児童の皆さんと共同で行っています。



平成14年から「杜の都」仙台で学ぶ学生の郷土愛を涵養すると共に地域への感謝の気持ちを表す目的で継続しており、今年も、7月2日に共同制作を開催しました。

当日は近隣小学校3校から児童及び保護者の皆様を合わせて54人（児童35人、保護者19人）の方に参加いただき、元気いっぱいの子供達と七夕飾りの制作に取り組むことで、楽しい時間を共有することができました。

今年の七夕飾りのテーマは「風鈴」。釣鐘部分は白や青を用いて涼しげなイメージを演出し、願い事を書いた短冊を音符の形にして、吹き流しに施すことで風鈴が鳴っているような

演出をしています。

平成29年8月6日から8月8日まで一番町アーケードに出展し、七夕祭り後は、本学の学生食堂に展示しました。是非みなさんにもご覧いただけたらと思います。



[地域連携センター] 第13回 感謝の日の開催

恒例の“第13回 感謝の日”の催しが6月24日(土)開催されました。

今年は天候にも恵まれ、本学の学生・教職員併せて約500人と本学がキャンパスを構える国見五丁目町内会・国見町内会の方々約30人が協働で近隣の公園等14箇所に分かれて草刈り・清掃活動を実施しました。



これは、本学が近隣地域の皆様方へ日頃の感謝の意を伝えようと、平成17年より6月の第4土曜日を「感謝の日」と定めて実施してきたものです。



本学ではこの活動を、学生達のマナー向上と共に、社会性を育む最良の機会と捉えています。また、地域の方

と共に作業することで世代間交流を進め、希薄化している地域コミュニティの醸成を目指した活動でもあります。地域の皆様からは、「大学が身近に感じられ、学生の皆さんと顔見知りになることができ嬉しい」などの声が聞かれ、地域と一体となって発展する大学として、また一步、前に進むことが出来ました。



[保健福祉学科] 日本体育協会が「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト」を開催、スタッフとして教員・学生が参加



日本体育協会が主催する「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト」が東北文化学園大学体育館にて行われました。これは、将来性の豊かな地域のアスリートから、メダル獲得の潜在能力を有する人材を発掘するプログラムです。東北各地から中高生たち約100人が本学に集まりました。本学の教員・学生も受付、測定員としてサポートを行いました。

【大学】 第九コンサートプレイベント「丘のうへの音楽会6」

7月10日、本学の学生食堂で“丘のうへの音楽会6”を開催しました。

暑い中、一般の方を含め100人を超える方が来場してくださいました。

このコンサートは、本学の学生たちが震災復興の祈りを込めて歓喜の歌を歌う「第九コンサート」のプレイベ



トとして毎年開催されており、今年度で第6回目を迎えます。

出演は、熱心に歌唱指導をしてくださっている声楽家の五十嵐修先生、在原泉先生、ピアニストの高橋麻子先生、高塚美奈子先生、石垣弘子先生と錚々たる顔ぶれです。

音楽会では、日本の歌曲やイタリアの大衆歌謡、リストの名曲など様々な曲が奏でられ、観客を魅了していました。

来る12月3日に東京エレクトロンホール宮城で、今回出演された先生方から、きめ細かな歌唱指導を受けた学生たちが、仙台フィルハーモニー管弦

楽団と「第九コンサート」を共演します。みなさま楽しみにお待ちしております。



【法人】 東北初開催「WEEKDAY CAMPUS VISIT (ウィークデーキャンパスビジット)」

7月24日～26日、東北文化学園大学で「WEEKDAY CAMPUS VISIT (略称: WCV)」を開催しました。

WCVは、高校生が大学のキャンパスで大学生が受けている授業に参加し、入学後と同じ「普段の一日」を体験するプログラムです。



東北地方では、本学が初めて開催し、普段の大学の授業を受けたいという高校生26人が参加、リアルな授業を体験しました。

WCVは、まずガイダンスを行い、イメージや現在の思いを出し合うグループワークを行います。そして、大学の通常講義を2つ体験した後、振り返りワークを行います。

講義の前と後でグループワークを行うことで、より実体験の学びが生きるプログラムです。

体験後の参加者の感想は、「リアルな大学生活が体験できて良かった。」

「国家試験の対策や授業の時に細かいところまで教えてくれた。」「オープンキャンパスのような特別な一日ではなく、普段の学生の方々と一緒に授業を受けることができ、とても良い体験ができました。」など、多くの学びを得たプログラムとなりました。



【リハビリテーション学科 作業療法学専攻】 TBGUOT 交流会



平成29年8月5日、TBGUOT交流会を開催しました。「理想的な臨床実習について考えよう」をテーマに大学1～4年生の混合グループでのディスカッションです。宮城県内の病院、施設で勤務している卒業生もグループに加わり、「学生の悩みや臨床実習に対するイメージ」「理想的な臨床実習とは？」など活発な意見交換が行われました。

[学長メッセージ] ねむの木

先日5号館脇の駐車場で、国見町内に住む知人にばったり出会いました。「こんなところでどうされたのですか」と声をかけると、「そこにあるねむの木の花を見に来ました」とのことでした。なんと本学の敷地内に大きなねむの木があって、清楚なピンクの花を沢山つけていたのです。

ねむの木はマメ科の木で、夜になると葉が閉じて木全体が眠りに入ったように見えるのですが、花だけが残って暗闇の中で、存在感を示しています。

花の色調に木毎にバリエーションがあって、濃厚なピンクから淡いピンクまであり、人により妖艶だとか清楚だ

とか、異なった印象を持ちます。

万葉の時代から歌に詠まれている由緒ある花で、昔買い求めた入江泰吉の「万葉四季の花」と言う写真集にも収録されています。

季報を発刊するとき、大学構内に咲

く四季折々の花を掲載しようという話がありました。野に咲く花は、人知れず咲き、輝いています。

その美しさを見つけ、感動を共にする。教育の原点もここにありそうな気がします。



[地域連携センター] 高大連携事業 “ 仙台育英高等学校模擬授業 ”

毎年恒例となっている仙台育英学園高等学校英進進学コースの生徒が参加する高大連携事業を実施し、2年生40人が本学教授陣の模擬授業を体験しました。



まず7月11日・12日の両日、科学技術学部臨床工学科の古林俊晃教授と同建築環境学科の八十川淳教授が同高

多賀城校舎に出張講義をした後、7月24日～26日の3日間、本学において医療福祉学部リハビリテーション学科の高橋信雄准教授他、3学部7学科の教員14名による模擬授業が実施されました。



今年度は医療福祉系に興味を持っている生徒が多く、特に臨床工学科の工藤剛実准教授の実技を交えた授業には

大いに興味を示し、受講していました。

また、中には看護師を将来の職業にと考えている生徒もいて、看護学科の授業では食い入るように受講しているのが印象的でした。



[保健福祉学科・看護学科] 「東松島あおい夏まつり」にボランティアスタッフとして参加しました



平成29年8月19日、東松島市あおい地区の夏祭りにボランティアスタッフとして、看護学科、保健福祉学科の学生が参加しました。昨年に引き続き2回目の参加です。学生はイベント運営を手伝いながら、自治会の方々と交流を深めました。祭りのクライマックスでは、青森のねぶた「じゃわめき隊」が会場を盛り上げ、会場は熱いかけ声に包まれました。

[専門学校] 渡辺英隆先生、佐々木賢志先生 教員表彰

宮城県専修学校各種学校連合会が授与する平成29年度教職員表彰に、総合福祉学科長で社会福祉科長の渡辺英隆先生と、建築デザイン学科建築土木科長 佐々木賢志先生が選ばれました。



左：佐々木賢志先生、右：渡辺英隆先生

これは、専門学校の教員として長く教職に携わり、職業人輩出に大きく貢献していると認められた教員に贈られるものです。

各教員からの受賞のコメントを紹介します。

■渡辺英隆先生

「この15年を振り返ってみますと、時間の流れと共に様々な変化がありました。

時代と共に変化しなくてはいけないものがある一方で、学校生活の様々な出会いの中でしか学べない大切で変わらないものがあると感じています。15年間の教育活動で学んだことを大

切にし、新たな気持で再出発いたします。」

■佐々木賢志先生

「平成14年度より勤務し、15年が経過しました。自分が携わった建築の仕事のやりがい、楽しさ、厳しさなどを今後も生徒に伝えて行きたいと思います。

これまで以上に、一生懸命に仕事をして参りたいと思います。」

[専門学校] 宮城県専修学校各種学校連合会主催「未来のしごと体験プログラム」

7月25日、26日の2日間、東北文化学園専門学校では、宮城県専修学校各種学校連合会の主催する「未来のしごと体験プログラム」の依頼を受け、宮城県内の高校生を受け入れる職業理解のための講座や演習を実施しました。



特に医療ビジネス学科には、6人の女子生徒の参加があり、異なる高校の生徒同士の交流や専門学校に在籍する先輩と一緒に体験を通して、病院での事務の仕事学びました。

今回は、病院の現場における職員の役割分担を想定し、ロールプレイを通じて全体的に理解するプログラムが組まれました。

参加した女子生徒は、総合受付窓口役、ドクター役、内科受付役、会計役、診療情報管理士役とそれぞれに交代しながら体験しました。

高校3年生にとっては進学のための学校選びが本格化する時期であり、専

門学校教員や先輩と一緒に進路を考える良いきっかけになったようでした。また、専門学校における職業実践教育について理解を深めてくれたのではないかと思います。



[専門学校] 職業理解イベントを石巻で開催



石巻イオンで職業理解のためのイベントが開かれました。介護分野の紹介として介護ロボットが展示され、200人ほどが訪れました。



[専門学校] 視力検査ボランティア（視能訓練士科）



視能訓練士科2年生が視力検査ボランティアとして幼稚園を訪問しました。視能訓練士は子どもと接する機会が多い仕事ですので、現場を体験し技術向上をめざします。



【友愛幼稚園】 縦割りの活動を通して（園長 大沼 百合子）

太陽がさんさんと輝く夏。水遊びに泥んこ遊びと夏を満喫している子ども達です。汗を流しながらも、バケツを持って「川を作ってるの！」と砂場で友だちと一緒に楽しんでいます。

暑さもなんのその。全身泥んこになりながら遊んでいます。



今年から月2回水曜日に“わくわくディー”と称して、年長児と年中児が交流する活動を行っています。



春を探しに散歩に出かけお昼と一緒に食べたり、近くの森林公園で、森を歩きながらいろいろな虫や草花を見つけたり、池でザリガニを釣ったりと楽しめました。

その中で、年長児が年中児の手を引

きやさしく接したり、年中児が年長児にくっついて嬉しそうに走る姿を見て微笑ましくなりました。



遊びの中で感じる楽しさや、相手思いやる気持ちなど、心と体で感じながら人との関わりも学びます。“遊びは学び”です。

これからも子どもの声に耳を傾け、様々な活動を行い、一人ひとりの成長につなげてまいります。

【幼保連携型認定こども園久慈幼稚園】 体幹を鍛える運動遊び（園長 田高 美恵子）

平成29年5月から、年少・年中・年長児を対象に「体幹を鍛える運動遊び」を取り入れています。NPOスポーツウェルネス所属の西館敦先生を講師に年6回開催しています。

笑顔で挨拶する子どもたちの姿から、運動あそびをとて楽しみにしている様子が伺えました。



年少児はうつ伏せになり、両手両足の上げ下げゲーム。年中児は、テニスボールをバウンドさせてキャッチする、握る、置くなどのボール遊び。年長児はこの他、サッカーマーカー取りゲームやスクーターボードで雑巾がけ競争を楽しみました。

運動遊び終了後、講師の先生から「普

段の雑巾がけの成果が出ている。遊びで鬼ごっこを取り入れると、子どもの運動量は一気に上がる」と、アドバイスをいただきました。



これからも体幹を鍛える運動遊びを積極的に取り入れ、子どもたちの健康と運動能力向上に取り組んでいきたいと思えます。

学校法人東北文化学園大学の主な行事予定

9/8 [大学] 後期授業開始	9/29 [大学] 学位記授与式(9月卒業)	10/21 [大学] 文化学園祭(～10/22)
9/9 [大学] 保護者懇談会(秋田会場)	9/30 [大学] 保護者懇談会(仙台会場)(～10/1)	[専門] 学園祭(～10/22)
9/10 [大学] 保護者懇談会(郡山会場)	10/1 [専門] 一日体験入学会	10/23 [大学] 出願期間(～11/1)一般推薦、編入学(1期)、
9/15 [専門] AO本出願受付開始	第1期書類選考科願書受付開始	編入学(一般編入1期、指定校編入、
9/16 [大学] AO入学試験	園児募集開始	社会人特別選抜編入1期)
(1期2ndステージ、第2選考)試験日(～9/17)	10/2 [久慈] 運動会	[専門] AO第5期受付締切
9/23 [大学] 保護者懇談会(盛岡・青森会場)	[久慈] ふれあい運動会	10/24 [専門] AO第6期受付開始
9/24 [大学] 保護者懇談会(山形会場)	10/17 [友愛] 新入園児募集説明会	10/25 [専門] AO第11期願書受付開始
9/25 [専門] 後期授業開始 AO第4期受付締切	10/19 [専門] 第一期受付締切	10/28 [専門] 一日体験入学会
9/26 [専門] AO第5期受付開始	10/20 [久慈] 募集説明会	11/1 [友愛] 新入園児願書受付開始

東松島市と本学の包括連携協定について

平成 29 年 8 月 10 日、東松島市と東北文化学園大学による、地域社会の発展や人材育成などを旨し、双方の資源を活用する包括連携協定の調印式が、東松島市役所で行われました。

おもな連携内容は

(1) 保健・医療・福祉の向上 (2) 教育・研究・文化の振興 (3) まちづくり など

東日本大震災の後、本学は、東松島市内の仮設住宅や防災集団移転団地「あおい地区」で、地域活動やコミュニティづくりに参加してきました。また、市の「医療福祉サービス復興再生ビジョン」の策定に当たり、本学、医療福祉学部に加藤由美教授が委員として選ばれています。

本学は、今後も東松島市と協力しながら地域の連携を進めてまいります。



第九コンサート 2017 を開催します

平成 29 年 12 月 3 日、本学恒例のイベント「第九コンサート 2017」を開催します。

本公演は、東日本大震災の記憶を風化させず、被災された人々と地域の復興・再生を願い始められた活動です。昨年度は 1200 人を超える来場者の方に参加いただきました。

本公演の開催概要につきましては、ホームページなどで公表し申込みを受け付ける予定です。情報公開までもうしばらくお待ちください。



昨年末に開催した第九コンサートの様子



本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。
また、記事掲載のご要望等あればご連絡ください。

■連絡先

学校法人東北文化学園大学 企画調整課 学園広報係
〒 981-8551 宮城県仙台市青葉区国見 6 丁目 45-1
TEL 022-233-3330 (代表) FAX 022-233-9875
メール pr@office.tbgu.ac.jp

学校法人東北文化学園大学 寄附金募集のご案内

本法人が掲げる理想の人物像「輝ける者」を社会に輩出するために、教育研究活動のための環境整備及び学生の修学支援体制の充実を行うことが必要です。より一層の教育研究活動の発展のため、皆様からのご支援を賜りたく、寄附金を募集しております。

詳細は本学 HP をご参照ください。